



平野広行 議員
政新会

問 令和2年度施政方針を問う

答 チーム弥富で取り組んでいく

問 令和2年度施政方針・予算編成において以下問う。

答 今年度の施政方針で第一に目指すものは。

問 コロナウイルス感染症対策に全力を尽くしていく。

答 災害時における対応金としての財政調整基金10億円を切る予算編成を行った考えは。

問 下水道事業の企業会計移行、会計年度任用職員の人件費増による財源不足。

答 市民一人1万円の支援金の支給は。

問 総務部長 他の感染症対策事業の財源にも必要となるので、現状では厳しい。

答 財政改革に特化した委員会設立の考えは。

問 市長 現段階では、新たな委員会や協議会などの立ち上げは考えていない。

答 コロナ対策における議会との一体感についての認識は。

問 今後一体感を持てるよう努めていく。

問 市民協働課の設置目的と具体的な取り組みは。

答 市民生活部長 市民や地域活動の自発的な活動を支えることを目的に設置。

問 取り組みは、市民協働やコミュニティの推進、交通安全、コミュニティバスなど。

答 当面の間は、雨水を貯留し洪水調整する調整池等の設置を開発事業者にお願います。

問 自然排水地区である上野、駒野地区への排水機場設置の考えは。

答 当面の間は、雨水を貯留し洪水調整する調整池等の設置を開発事業者にお願います。

問	八穂クリーンセンターの今後は
答	地元の要望を重く受け止める

問 八穂クリーンセンター操業問題への取り組みについて以下問う。

答 八穂クリーンセンター操業協定に関する進捗状況は。

問 市民生活部長 海部地区環境事務組合管理者が、令和元年7月に鍋田自治会八穂プロジェクト会長に探業期間見直しの依頼文を手渡した。以降、協議が続いている。

問 隣地9haの白地化に向けての進捗状況は。

答 建設部長 企業からの問い合わせはあるが、事業計画が市街化編入の要件を満たせないのが現状。

問 鍋田干拓地内を甲種農地から第2種農地へ変更する要望を耳にするか。

答 市長 承知しているが、周辺状況に変化が見受けられない中、単に区分が変更されるものではない。

問 八穂地区は排水受益区域から除外されているが。

答 建設部長 土地改良事業が実施されていないということだけで白地化が容易になる訳ではない。

問 八穂地区問題の市議会議員への説明会の開催は。

答 市長 本議会議中に議員に説明する。

問 八穂クリーンセンター西側農地の白地化に対し、先頭に立って県への要望の考えは。

答 議会と市が一丸となって進めるのであれば同行する。



▶八穂クリーンセンター
(鍋田町八穂地区)